

社会的自立・職業的自立へ向けた「志教育」の推進

～ 自己を社会にどう位置づけるのか(学校教育と社会との円滑な接続) ～

- 学校で学ぶ知識と社会、職業との関係を実感させる。
- 集団、組織の中で、自らの役割を果たす体験をさせる。
- 様々な社会活動、職業や生き方に触れる。

- 「学ぶ意義」の実感と学習意欲の向上
- 自己有用感の高まりと将来への展望
- 自ら学び、自ら考える姿勢の涵養
- 社会における役割の認識
- 自己理解・他者理解の深化

夢や志を持った生徒の育成

◎普通科高等学校(研究協力校)
テーマ:「大学等の向こう側にある社会」を意識する!

キャリアアドバイザー 

- 校内推進体制の整備
- キャリア教育推進計画の策定
- 地域の教育資源の活用
 - ・地域人材活用(進路探求ワークショップ)
 - ・校外施設の活用(インターンシップ)

指導助言

◎地域

- 地域人材(社会人講師, 熟練技能者, 大学職員, 地域ボランティア, NPO等)
- 校外施設(民間事業所, 大学, 研究所, 他校種各学校等)

キャリアコーディネーター 

☆人材育成プラットフォーム会議
(連携コーディネーター会議の設置)

キャリアプロテューサー 

担当指導主事・連携担当職員  

◎県・県教育委員会

- みやぎキャリア教育プランの策定

連携

連携